

泌尿器科
部長

井口 亮

特色

2023年度は急な医師減少によりやむなく診療の制限を行い、御迷惑をお掛けいたしました。2024年度からは人員が回復し、地域からの紹介枠を再開させていただいております。

泌尿器科の手術は腹腔鏡・経尿道的内視鏡を用いた低侵襲手術が中心です。泌尿器癌の手術（経尿道的膀胱腫瘍切除を除く）では、9割以上を腹腔鏡で行っています。2018年6月から導入したロボット支援手術は順調に稼働しており、前立腺全摘術、腎部分切除術、腎摘除術、腎尿管全摘術、膀胱全摘術、腎盂形成術など幅広い術式に用いています。尿路結石の手術では、経皮的と経尿道的の同時手術（ECIRS）にも取り組んでいます。前立腺肥大症に対してはレーザー核出術に加えて、より低侵襲な尿道つり上げ術（ウロリフト）を導入しました。腰椎麻酔下に20分ほどで実施可能であり、今後の適応拡大に努めます。

多職種とのチーム医療にも尽力しています。「排尿ケアチーム」では、診療科横断的に適応をひろげ、院内での排尿自立を目指しています。また、地域医療福祉連携室のサポートのもとに行う前立腺癌地域連携パス運用も行っております。地域の先生方のご協力に御礼申し上げます。

2020年秋から開始した生体腎移植は2025年6月現在、累計26例実施し良好な経過をたどっています。京都市近郊の一般病院では、当院が初めての腎移植実施施設となります。

診療内容

対象疾患	具体的傷病名
尿路悪性腫瘍	腎癌、前立腺癌、膀胱癌、腎盂尿管癌、精巣癌など（ロボット手術ほか）
尿路良性腫瘍	前立腺肥大症（内視鏡手術）、副腎腫瘍（腹腔鏡手術）
尿路結石症	体外衝撃波結石破碎（ESWL）、経尿道的碎石術（TUL）、経皮的碎石術（PNL）
腎不全	腹膜透析カテーテル挿入、生体腎移植

実績

入院実績（人）		主な手術件数			
年間延入院患者数	6,198	腹腔鏡下手術	69	体外衝撃波結石破碎（ESWL）	48
新患者数	663	（うちロボット支援）	50		
外来実績（人）		膀胱癌経尿道的手術	95	前立腺生検	109
年間延外来患者数	10,932	経尿道的前立腺手術（レーザー核出術を含む）	11	生体腎移植	3
新患者数	147				
1日平均患者数	45.0	経尿道的尿管結石破碎術（TUL）	59	総手術件数（ESWL、前立腺生検を除く）	349



スタッフ

医師名	役職	専門分野	専門医認定 / 資格など
井口 亮	部長	泌尿器内視鏡手術	日本泌尿器科学会専門医 / 指導医、日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会泌尿器腹腔鏡技術認定医、日本内視鏡外科学会技術認定医（泌尿器腹腔鏡）、ロボット支援手術（ダヴィンチ）certificate、日本ロボット外科学会 Robo-Doc Pilot 国際 A 級 / 国内 A 級、日本泌尿器科学会 / 日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会ロボット支援手術プロクター認定医
小池 修平	副部長	泌尿器科全般	日本泌尿器科学会専門医 / 指導医、日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会泌尿器腹腔鏡技術認定医、ロボット支援手術（ダヴィンチ）certificate
山口 貴大	副医長	泌尿器科全般	日本泌尿器科学会専門医、ロボット支援手術（ダヴィンチ）certificate
渡邊 拓樹	医員	泌尿器科全般	ロボット支援手術（ダヴィンチ）certificate
田淵 祐介	専攻医	泌尿器科全般	ロボット支援手術（ダヴィンチ）certificate
大久保 和俊	院長	泌尿器内視鏡手術 腎移植 男性不妊症	日本泌尿器科学会専門医 / 指導医、日本がん治療認定医機構 がん治療認定医、ロボット支援手術（ダヴィンチ）certificate、日本臨床腎移植学会腎移植認定医

地域医療機関の先生方へ

平素より、当院からの紹介患者を快くお引き受けくださり、また、当院へ多数の患者を御紹介いただき誠にありがとうございます。引き続きよろしくお願ひ申し上げます。今後も地域の会合等で情報交換させていただければ幸いです。